



# 市政ニュース NAGAOKA

## 広域交通機能の強化に向け

# 東西道路の橋りょう部分が 国の直轄事業に 大手大橋4車線化にも弾み

問交通政策課 ☎39・2267

現在、市役所の本庁機能は、地方分権や合併による業務の拡大により、幸町の本庁舎、分室のほか、柳原分庁舎や大手通り周辺の分室に分散しています。また、本庁舎は、公共交通機関の結節点である中心市街地から遠いため、車を運転しない人、特にお年寄り、体の不自由な人にとっては利用しにくい場所にあります。そのため、合併して大きく広がった市域のどこからでもバスなどで気軽に来ることができるよう市役所や公共施設の配置が課題となっています。

**市民委員会を設置して移転案を検討**

市では、「厚生会館地区などに行政施設を配置し、公共サービスの展開を図ることが望ましい」という中心市街地構造改革会議の提言を踏まえ、今年度、長岡市行政機能再配

# 市役所の移転を検討します

だれもが利用しやすい市役所を目指して

現在、市役所の本庁機能は、地方分権や合併による業務の拡大により、幸町の本庁舎、分室のほか、柳原分庁舎や大手通り周辺の分室に分散しています。また、本庁舎は、公共交通機関の結節点である中心市街地から遠いため、車を運転しない人、特にお年寄り、体の不自由な人にとっては利用しにくい場所にあります。そのため、合併して大きく広がった市域のどこからでもバスなどで気軽に来ることができるよう市役所や公共施設の配置が課題となっています。

置検討市民委員会を設置。市民サービスの向上や移転に必要な経費などの観点から、本庁機能のあるべき位置や具体的な配置など移転についての検討を行います。

検討する移転案はおおむね次のとおりです。

①厚生会館地区に、本庁機能をまとめて一括配置

②厚生会館地区や大手通り再開

発地区などに、本庁機能を段階的に分散配置

このほか、多くの市民が利用する文化・福祉などの施設について、大手通り周辺の設置位置も検討します。

検討の状況は、市政日よりなどお知らせし、市民のみなさんご意見を聞きながら検討を進めていきます。

問行政管理課 ☎39・2208

長岡市行政機能再配置検討市民委員会委員 (50音順・敬称略)	
今井 雅人	長岡青年会議所理事長
小川 峰夫	ながおかタウンマネジメント企画運営会議代表
片桐 義則	長岡市社会教育委員会委員
金子 博	連合新潟中越地域協議会事務局長
鯉江 康正	長岡大学教授
小池 裕子	長岡子育てライン三尺玉ネット副代表
齋藤 純	長岡市社会福祉協議会会長
田中 克己	長岡市行財政改革推進市民委員会委員
田村 巖	長岡商工会議所会頭
外山 康男	栃尾地域委員会委員長
豊口 協	長岡造形大学理事長
中出 文平	長岡技術科学大学教授
松澤 悦子	総合計画策定委員会教育・文化部委員
三上 規子	寺泊地域委員会委員
渡辺 千雅	NPO法人ながおか生活情報交流ねっと理事

## 早期完成に向け大きく前進

長岡東西道路は、中心市街地（川東地域）と長岡ニュータウンなど（川西地域）をつなぐ新しい路線として、県が事業主体となり平成十年度に着手しました。現在、用地買収や盛土工事が進められています。

市は県とともに、この路線が一日も早く完成するよう、国の直轄事業（国が直接工事を行うこと）による整備を要望してきました。

その結果、平成十八年度から、整備区間（要町〜西津町）三キロメートルのうち、信濃川に架かる橋りょう部分の工事を国の直轄事業で整備することが決定しました。

今後、国と県が一体となって事業を進めることにより、東西道路の早期完成が期待されます。

完成すると、長生橋や大手大橋の渋滞が緩和され、川東地域と川西地域を結ぶ広域交通機能が一層強化されます。

市では、この区間の整備ができるだけ早期に完了するよ

# カンボジアに教育を 第10回米百俵賞は 後藤文雄さんに

う、強く要望していきます。

**大手大橋の4車線化に弾み**

一方、大手大橋では、現在、四車線化に向けた工事が進め

られています。

東西道路の一部が国の直轄事業になったことで、大手大橋の四車線化についても県の重点的な整備により、早期の



▲後藤文雄さん

独自の活動により、人材の育成に大きく貢献した個人や団体を表彰する米百俵賞。三月二十八日に行われた米百俵賞選考委員会で、長岡市出身の後藤文雄さんが第十回の受賞者に決まりました。

**カンボジアの未来のため学校を建設**

ポール・ポト政権による圧制によって、多くの人が難民となったカンボジア。後藤さんは、昭和五十六年から難民となった子どもたちを日本で引き取って教育活動に取り組み、里親として十四人の子どものちを育てました。

そして、教育支援こそがカンボジアの未来に希望をもた

らすとの考えから、平成六年、私財を投じて現地に学校を建設する活動を始めます。昨年までに十二校を建設し、現在も支援の活動を続けています。荒廃した当時のカンボジアは教師となる人材が不足し、政府も教育には手が回らない

状況でした。しかし、後藤さんの地道な活動は、政府や人々に教育の大切さを改めて気付かせるきっかけとなりました。

選考委員長の半藤一利さんは「米百俵の志と全く同じ活動をされている方です」と選考理由を語っています。

市制100周年記念シリーズ ①  
写真で見ると

# ながおか100年

完成間近な長生橋

写真は、長岡の名勝として絵はがきになった架け替え工事中の長生橋です。撮影場所は右岸上流で、鉄橋の向こうには木橋の長生橋が見えます。独特の形を持つ連続十三連の山のゲルバー式鋼構橋は一部が完成しています。

長生橋の名前は長岡の「長」、草生津の「生」から付けられました。明治九年に信濃川最初の橋として架けられたときの名称は、その形が龍が横たわっているように見えることから臥龍橋と呼ばれました。当時の長生橋は木橋として日本一長い橋でした。しかし橋板などの傷みが激しく、歩行者はバスが通ると欄干にしがみついて待たなければならぬほど揺れたと言います。

そのため、鉄橋への架け替えを求め、昭和九年に県が七十万円予算で架け替え工事に着手。昭和十二年十月十二日に、北陸・東北地方では最長の橋（長さ八五〇メートル、幅員約七メートル）として現在の長生橋が完成しました。



▲工事中の長生橋（昭和12年ころ）  
東詰から長生橋を渡る際の道路の曲がりや歩道上から見える橋脚跡に、昭和12年まで使われていた木橋の名残が見られます。

「長岡市政100年のあゆみ」の予約受け付け中！ 問文書資料室 ☎36・7832

## 米百俵デー市民の集い(入場無料)

日時=6月15日(木)午後2時~4時30分  
会場=リリックホール・コンサートホール  
内容=①第10回米百俵賞贈呈式  
選評…半藤一利さん(作家)  
②講演会  
演題…「自然ふるさと生活再発見」  
講師…俳優・菅原文太さん



▲菅原文太さん

■はがきに「市民の集い」参加希望、住所、氏名、電話番号、参加人数を記入し、5月8日(月)~31日(水)に〒940-8501(住所記入不要)長岡市役所庶務課へ(電話でも可。受け付けは先着。当日は手話通訳あり)

問庶務課 ☎39・2203